

日本、アジア、ユーラシアの伝統楽器と洋楽器、歌による
クラシック室内楽アンサンブル

夢枕 企画コンサート

色を塗られた鳥、 時空を舞う

Dream Pillow Concert
The Painted Bird Dancing
Between Time And Space

こんなに優しくそして論理的なのに、どうしてこんなに淋しいのだろう。
AYUOさんの世界と他者の世界のすれ、それはきつとはかりしれないくらい切ないものなのだろう。
しかし、その空間ではじめて彼の心と音楽は美しく飛び回り、遊ぶのだ。

よしもとばなな(小説家)

【PROGRAM】

弦楽四重奏曲第42番-打楽器と声を伴う

『蝶が猿とあくびする(ハヴェル・ハースに倣って)』

足立智美作曲(2023, 夢枕委嘱曲)

『月白』尺八と弦楽四重奏 中村明一作曲(2023初演)

組曲『色を塗られた鳥、時空を舞う』

(コシンスキーの半自伝小説『異端の鳥』に基づく歌と室内楽曲の組曲)

Ayuo作曲(組曲には以下のAyuoの曲も含む)

『3つ時代を表す3人の女神』より

『When Illusion Looks Like Reality,
Then Reality Becomes Just A Fantasy』弦楽四重奏曲より

『ユーラシアン・タンゴ』より

【出演】

Ayuo(歌、ヴォイス、中世ヨーロッパのプサルテリー、弦楽器、作曲)、

中村明一(尺八、作曲)、足立智美(作曲)、

高橋アキ(ピアノ)、上野洋子(ヴォイス、アコーディオン)、

立岩潤三(打楽器)、甲斐史子(ヴァイオリン)、

亀井庸州(ヴァイオリン)、迫田圭(ヴィオラ)、松本卓以(チェロ)

プロデュース: Ayuo

主催: 夢枕 <https://www.facebook.com/yumemaku>

助成: 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

NOMURA 野村財団 公益財団法人朝日新聞文化財団

ARTS
COUNCIL
TOKYO

チケット発売開始2/4(土)10時~ 全自由席

前売一般 4,500円(当日5,000円)

前売学生 2,000円(当日2,500円)

CD付チケット 6,000円(マルメロのみ取扱)

(ayuo.bandcamp.comのアルバムからAyuo自身のセレクトした歌、
ハープ、室内楽の曲集。演奏される曲も一部含む)

問い合わせ・申込み: マルメロ

E-mail: marmeloyama@gmail.com

TEL 03-5627-7583 FAX 03-5627-7584

e+ イープラス 興行コード: 380824-0001



2023.4.6(木)
19:00 START(18:30 OPEN)

杉並公会堂
小ホール

荻窪駅北口
より徒歩7分

夢枕 企画コンサート

色を塗られた鳥、時空を舞う

The Painted Bird Dancing Between Time And Space

本公演は"The Painted Bird"にインスパイアされた3人の作曲家(足立智美、中村明一、Ayuo)による3つの新作で構成されたコンサートです。"The Painted Bird"(邦題は「異端の鳥」)は、2019年にウクライナ/ポーランド/チェコの合作映画となったイエジー・コシンスキーの半自伝的小説に基づいています。原作小説では、ジブシー・カユダヤ人か東洋人と思われる少年が、中・東欧の不特定多数の国に点在する小さな村をさまよいつつ見た第二次世界大戦を描いている。小説の中では、彼はしばしばモンゴル人の末裔と間違われることもある。『色を塗られた鳥』というタイトルは、物語の中のある出来事から引かれたものだ。少年は鳥捕りの男と一緒にいるとき、その人が捕えた鳥を塗り分けているのを見る。色を塗られた鳥が自分の群れに戻ると、群れは色を塗られた鳥を侵入者とみなし、空から落ちて死ぬまで激しく攻撃する。これは、差別のメタファーとして使われている。異国で育った少年が生まれ故郷に帰っても、同類から差別され、攻撃される。これは日系

や韓国系のアメリカ人を含むアジア系アメリカ人が両親の国に戻って起きることと似ている。「字がみんなと同じように理解できない」、「話がわからない」、「空気を読めない」などから始まり、社会で差別を受けることは、この数年ソーシャル・メディアで話題になっている。この作品では、こうしたことをタイム・トラベルのコンセプトに含んで表現している。

Ayuoの組曲『色を塗られた鳥、時空を舞う』は、中世、第二次世界大戦中と現代が交差する物語で、民族や人種を区別する観念への理解をまだ得ぬ無垢な子供の心から感じる人種差別や、民族、文化の違いによる差別。これは、世界中、いつ、どこかの国、民族でも起こり得ることとして、今回創作した。現代音楽、クラシックの演奏やPOPS、邦楽等の第一線で活躍する演奏者による初演です。無二のアンサンブルにご期待ください。

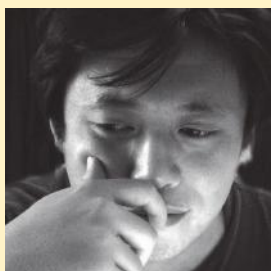
※「夢枕」は、日本とアジアの伝統楽器、洋楽器のアンサンブル、西洋クラシック・アンサンブルを複合した新しい音楽を創造し世界に発信することを目指し、Ayuo、中村明一が中心となり2015年結成。



Ayuo



中村明一



足立智美



高橋アキ



上野洋子



立岩潤三



甲斐史子



亀井庸州



迫田圭



松本卓以



Ayuoの室内楽曲 - バレエとコンテンポラリー・ダンス共の映像のYOUTUBEプレイリスト

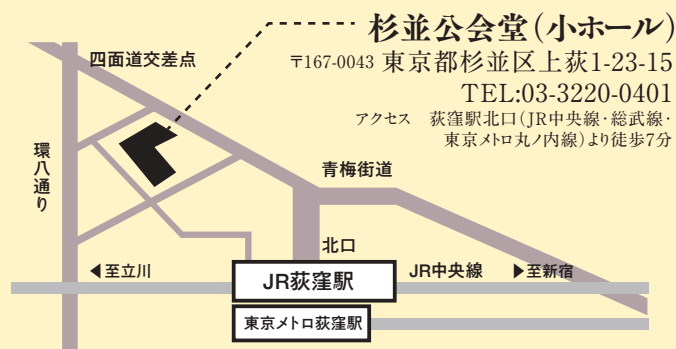
上記のプレイリストの"When Illusion Looks Like Reality, Then Reality Becomes Just A Fantasy",

"Rays of the Sun", "Eurasian Tango", "3 Goddesses"「3つ時代を表す3人の女神」は今回の楽曲に含みます。

Ayuo(高橋鮎生): 歌、ギター、弦楽器、英語作詞・作曲

ニューヨークでイラン系アメリカ人の義父と日本人母の家で英語環境の家で17歳まで育ち、60年代後半のアメリカの文学、アート映画、実験音楽に影響を受ける。18枚のソロ・アルバムをJVC ビクター、エピック・ソニー、ミディ、Tzadikなどの日米のレーベルで発表。坂本龍一、ジョン・ゾーン他、多くのアーティストと共演。Classic Archivesでは日系アメリカ人の代表的な作品として『ユーラシアン・タンゴ』が取り上げられている。中世の吟遊詩人の音楽に強い影響を受け、神話、昔話や近年の文学も題材にして作品を創り続けている。2018年初の著書「アウトサイド・ソサエティ」が発刊された。2019年新作CD「アウトサイド・ソサエティ」を発売。2020年、Ayuoの曲『ながれる』を含んだアルバム『環境音楽』が米グラミー賞にノミネートされた。

音響/小俣佳久 宣伝美術/軸原ヨウスケ(COCHAE) 制作/斎藤 朋(マルメロ)



Ayuo『絵の中の姿』
(ZIP-0024 税込2,619円)

少年の目から見た1960年代、ニューヨークのローワー・マンハッタンでの生活。社会が変わろうとした時代。ドラッグとサイケデリック文化。

Vocals/Guitar/Bouzouki: Ayuo
Vocals: 上野洋子、原マスミ、Jarabka
Electric Piano/Piano: 千野秀一
Piano: 高橋悠治
Sound Collage: 沢田穠治



Ayuo and Seashell
『dna』(CD&絵本)
(ZIP-0033 税込2,750円)

室内楽的なギター、弦楽四重奏曲、インド神話に基づき語りの中東の打楽器とギターの作品。泉鏡花小説のオノマトペ合唱曲等。これからの時代を生き出すことを意識して書いた作品集

Guitar, Vocals, 朗読: Ayuo,
Violin: 甲斐史子、大庭由希、Viola: 佐藤佳子
Cello: 松本卓以、朗読、Chorus: YOSHIE,
Vocals, 朗読: 柴田暦、Darubuka, Tabla, Perc:
立岩潤三、Chorus: 上野洋子

Bandcamp
ayuo.bandcamp.com

を見てみてね。春までは
25枚のアルバムがアップ
されます。



<https://www.zipangu-label.com/>